

【隠岐の島町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申等の内容を踏まえ、「個別最適な学び」及び「協働的な学び」の実現に向け、1人1台端末の整備や高速無線LAN整備を行ってきた。

個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、学習場面に応じたデジタルツール活用を推進します。

2. GIGA第1期の総括

隠岐の島町では、第1期GIGAスクール構想に基づき、学校の無線LAN環境と児童生徒の1人1台端末配備といったハード面の整備および、学習支援ツールやクラウドツール等々の導入といったソフト面の双方の環境整備を完了した。

また、外部の専門家との連携や域内の教職員による実践の共有の場を開くなどの現場支援も並行して行ったことで、教育のDX化が飛躍的に進行した。

学習の場面においても、児童生徒のICT活用は日常化しており、個別最適で協働的な深い学びの実現に向けて着実に学校現場は歩を進めている。

しかしながら、学校や教職員間でのICT活用状況は依然として偏りがあることが課題として挙げられる。第2期GIGAスクール構想においては、継続的な研修会の開催や学校間の事例共有、活用方法の個別支援等を行いながら、ICTのより良い活用に向けたスキルアップを促し、着実な教育DXの底上げを図っていく。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用

ICT研修の充実や学校間の事例共有、教育委員会による個別支援等を通して、教職員のICT活用のスキル向上や実践知のアーカイブ化を図る。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

タブレット端末により大型提示装置や学習支援ツール、汎用クラウドツール等を授業場面に応じて適切に活用することで、個別最適かつ協働的な学びの一層の充実を図る。

(3) 学びの保障

リモート授業や学習アプリ等を活用し、不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等への支援を継続していく。